



日本女子大学現代女性キャリア研究所・リカレント教育課程・ 合同会社西友による女性の再就職支援プログラム実施について

日本女子大学「現代女性キャリア研究所」と「リカレント教育課程」は、合同会社「西友」の協力を得て、女性の再就職支援のための「セルフリーダーシップ・プログラム」を実施いたします。

女性の活躍推進は我が国の重要課題の一つと言われます。妊娠や出産を機に有業女性の約6割が無業に移行し、その多くが育児期を経て再就業を希望しているにも拘らず、なかなか社会復帰に踏み切れずにいます。

本学リカレント教育課程は、こうした女性を対象に、1年間(2学期)のキャリア教育を通して、高い技能・知識と働く自信・責任感を養い、再就職を支援するものです。2007年の発足以来、これまで170人が課程を修了し、修了生の多くが社会で活躍しています。

本学「現代女性キャリア研究所」は、「リカレント教育課程」修了生ほか修了生年齢の女性の調査を通して、M字カーブの解消の妨げの一因になっているのは、彼女たちが「自信のなさ」や「家庭と仕事の両立」など、再就労に対するさまざまな不安を抱えているため、とわかりました。

そこで、「リカレント教育課程」受講生を対象に、再就業に対する不安と向き合って自分の課題を認識し、主体的に行動する力の養成を目的とした「セルフリーダーシップ・プログラム」を実施いたします。本プログラムは、本学「現代女性キャリア研究所」が、米国ウォルマート・グループに属し、その経営方針にのっとり、女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる合同会社「西友」の協力を得て行うものです。

「セルフリーダーシップ・プログラム」は、再就業を目指し、自分の方向性を検討したいと考えている「リカレント教育課程」受講生に対し、実際に企業の現場を見学し、現場の課題や取り組み、そこで働く女性たちの働き方やキャリアについて具体的な話を聞き、議論する機会を提供します。5日間のプログラムの最終日には、参加者全員が現場の課題を解決するための提案を行い、合同会社西友の経営幹部が採点評価を与え、「セルフリーダーシップ」に向けて具体的な助言をします。こうした一連の作業を通し、参加者が企業で働く現場感覚を取り戻し、再就業に向けて具体的な一歩を踏み出すきっかけを作ります。

以上